

めぐみイエス・キリスト教会

2019年12月29日(日)2019年感謝礼拝
週報「通算第487号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまづくことなど決してありません。》

| | | |
|-----------|-------|---------------|
| 第一礼拝 | 毎週日曜日 | 午前10時～11時 |
| 第二礼拝 | 毎週日曜日 | 午後6時～7時 |
| 聖書の学びと祈り会 | 毎週水曜日 | 午後6時15分～7時15分 |

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年12月29日 2019年感謝礼拝
第一礼拝 午前10時 感謝会 午前11時より

司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌79「あめには栄え」 p. 108

【交読文】 詩篇第150篇 旧約聖書 p. 969

【賛美Ⅱ】 新聖歌75「神の御子は」 p. 102

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉にかえろう」

【聖書朗読】 詩篇118篇1節

【祈 禱】

【説 教】 《主に感謝することとは？》 鈴木 竜実 牧師

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※聖書箇所「詩篇118篇1節」(旧約p. 941上段最初)

118:1 主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。

●ポイント1. 父なる神様が御子イエス・キリストを送って下さったこと

※マタイの福音書1章20節後～23節「御使いの言葉」(新約p.1下段)

1:20 「ダビデの子ヨセフ。恐れないうであなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。

1:21 マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救って下さる方です。」

1:22 このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。

1:23 「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちと共におられる、という意味である。)

●ポイント2. 永遠のいのちが与えられていること

※ヨハネの福音書3章16節「最も有名な言葉」 (新約p.161下段)

3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

※第 I ヨハネ5章11節～13節「使徒ヨハネの言葉」 (新約p.431下段)

5:11 そのあかしとは、神が私たちに永遠のいのちを与えられたということ、そしてこのいのちが御子のうちにあるということです。

5:12 御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。

5:13 私が神の御子の名を信じているあなたがたに対してこれらのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいのちを持っていることを、あなたがたによくわからせるためです。

●ポイント3. 神様の命令とは？

※第 I テサロニケ5章18節 「使徒パウロの言葉」 (新約p.367下段)

5:18 すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

※ローマ人への手紙8章28節「使徒パウロの証言」 (新約p.277上段)

8:28 神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益として下さることを、私たちは知っています。

◎先週のメッセージの概要【クリスマスとは？】

《主のご降誕について詳しく書かれているのはルカの福音書だけです。

さて、「この土地」とは、ベツレヘム郊外を指します。そこに羊飼いたちが、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていました。彼らはユダヤ人でありながら、同胞とは認められず、会堂に入ることも許されない人たちでありました。御使いは、ユダヤ人の中において、最もしいたげられた人々であった羊飼いたちの所に、「喜びの知らせ」を伝えに来たのです。「今、私はこの民全体の為のすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょうダビデの町で、あなたがたの為に、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つけます。これが、あなたがたの為のしるしです。」

御使いは、「あなたがた」すなわち「羊飼い」たちに語っているのです。そして彼らは、「ダビデの町」がどこであるのかを知っていました。

御使いが離れた後、羊飼いたちは話し合います。「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせて下さったこの出来事を見て来よう。」と。

これがクリスマスです。クリスマスとは、キリストをミサするという言葉が合わさって出来た合成語で、「救い主を礼拝する」という意味なのです。

羊飼いは、「喜びの知らせ」を、ただ聞いただけでなく、生まれたばかりのみどりごイエス様を礼拝する為に、ベツレヘムに行ったのです。そしてマリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごとを捜し当てます。

「クリスマス」は、イエス・キリストがお生まれになられた日であることを、世界中の誰もが知っています。しかし多くの人々にとって、それは単なる知識であって、実際に心の中にイエス様をお迎えしてはいないのです。

イエス様は、私たちすべての人々の罪を背負われ、十字架にかかり、血を流す為にお生まれになられました。私たちは、もう一度、主がお生まれになられた真の意味を覚え、そして心から礼拝すべきなのです。》

◎お知らせ

※次回礼拝は1月5日です。1月19日(日)は鈴木師が聖書キリスト教会大会に出席する為、午後礼拝はお休みします。次回「聖書の学びと祈り会」は1月8日(水)に行ないます。1月1日(水)元旦は、お休みとなります。